

合同開催

北陸・東海・近畿地域鳥獣害対策研修会、森林動物研究センターシンポジウム、
新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業成果発表会

シンポジウム 野生動物の保全と管理の最前線

日時：2011年12月15日（木）10:30～16:20

会場：神戸市産業振興センター「ハーバーホール」

近年、野生動物による農林業被害が大きな社会問題となっています。

本シンポジウムでは、兵庫県森林動物研究センターがこれまで取り組んできた対策を兵庫モデルとして紹介するとともに、新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業の研究成果を報告し、今後の対策について提案します。

本日の全体スケジュール



第一部 [10:30～12:20]

新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業

「スマートセンサーを装備した捕獲・防護両用の野生動物被害対策システムの開発」成果発表会

1. 「スマートセンサー事業の概要」

室山泰之（兵庫県立大学教授／森林動物研究センター研究部長）

2. 「効率的な捕獲方法とスマートセンサーの役割」

阿部豪（兵庫県立大学特任助教／森林動物研究センター協力研究員）

3. 「スマートセンサーの開発：頭数センサーと獣種判別センサー」

長瀬一彦（株式会社アサヒ電子研究所システム開発部マネージャー）

4. 「実用化に向けた取り組み –まとめにかえて–」

坂田宏志（兵庫県立大学准教授／森林動物研究センター主任研究員）

— 昼食・休憩 [12:20～13:30] —

第二部 [13:30～16:20]

兵庫県森林動物研究センターシンポジウム－兵庫モデルの挑戦－

1. 「兵庫から全国へ –兵庫モデルの挑戦–」

林良博（森林動物研究センター所長）

2. 「地域で取り組む獣害対策 –成功集落の条件–」

鈴木克哉（兵庫県立大学助教／森林動物研究センター研究員）

3. 「住民参画型アライグマ捕獲モデルへの挑戦」

横山真弓（兵庫県立大学准教授／森林動物研究センター主任研究員）

4. 「兵庫県における特定鳥獣保護管理計画の考え方」

坂田宏志（兵庫県立大学准教授／森林動物研究センター主任研究員）

5. パネルディスカッション

コーディネーター 林良博（森林動物研究センター所長）